



職場ストレス予防 チェックポイント

編者：国際労働機関(ILO) 訳者：小木和孝、吉川悦子、佐野友美、吉川 徹
発行：公益財団法人大原記念労働科学研究所 定価：(1,200円+税)

職場におけるストレスの問題は日々メディアで取り上げられ、人々が関心を寄せている身近なテーマである。その一方で、職場のストレス対策を推進し、実効性のある活動を展開することは容易ではない。産業保健専門職にとっても常に頭を悩ませる問題でもある。

本書は、国際労働機関(ILO)が作成した職場ストレス予防チェックポイント及び現場改善ヒント集の日本語翻訳版であり、多様な職種で共通して役立つ予防対策がまとめられている。職場ストレスが10領域50項目にまとめられ、それぞれの項目でストレス予防の理由、対策方法、対策を行う上での注意点が明瞭かつ簡潔に述べられており、現場へ応用しやすい。

また、国際経験豊かな専門家グループが作成に携わっており、環境や文化慣習が異なる国々でも活用されることを想定されているため、日本でも増加するであろう外国人労働者を含めたストレス対策にも展開できると考えられる。さらに、訳者は産業保健現場に精通する研究者陣であり、労働安全衛生に関わるすべての人が理解しやすいように日本語訳の表現にも配慮されている様子が見えてくる。ストレス対策の世界標準とも言うべきこの1冊をぜひ手にとって労働衛生管理に役立ててほしい。

みやざき ようすけ
宮崎 洋介

(産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター
特任助教)



これだけでわかる ISO45001 導入から実践までのポイント

編者：中央労働災害防止協会 発行：中央労働災害防止協会 定価：(3,500円+税)

労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格「ISO 45001」は今後もさらなる国際化とグローバル化が求められる現代の日本の企業にとって重要な規格のひとつである。

ISO45001認定取得の有用性は、経営者と従業員が一丸となって安全かつ健康的な企業文化を醸成し続けることで企業組織の労働生産性の向上を目指しやすくなることにある。認定取得による大きなメリットとして、①社会的信頼性の向上、②安定した人材確保、③従業員のモチベーションの高揚、④事業獲得機会の増大、⑤事業の円滑な推進などが見込める。

本書は2018年3月に発行されたISO45001について、

発行されるまでの経緯のみに触れた内容ではなく、企業が知りたい計画、導入、運用に至るまで、一見煩雑なその手順が非常にわかりやすく解説されている。

そして、日本版マネジメント規格JISQ45100との相互乗り入れや整合性などの関連についても丁寧に解説されている。

この規格の導入を検討している企業及び事業所の担当者にとって必携であるとともに、産業保健スタッフがISO45001の基本的な知識を身に付けるためにも一読の価値ある1冊である。

てらだ はやと
寺田 勇人

(高輪労働衛生コンサルタント事務所代表・
東京都医師会産業保健委員会副委員長)

編集委員 (五十音順・敬称略)

委員長 相澤 好治 北里大学名誉教授
大西 洋英 独立行政法人労働者健康安全機構産業保健担当理事
加藤 隆康 豊田衛生管理者研究会顧問
神ノ田昌博 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
甲田 茂樹 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所長代理

河野 啓子 学校法人皖学園四日市看護医療大学名誉学長
興梠 建郎 新潟産業保健総合支援センター所長
浜口 伝博 ファームアンドブレイン社代表/産業医
東 敏昭 学校法人産業医科大学学長
松本 吉郎 公益社団法人日本医師会常任理事